

第7回 森の“聞き書き甲子園”フォーラム



●プログラム

《第一部》

- 12:45 開会 主催者代表挨拶
12:55 「森の名手・名人」への認定証授与
高校生への「聞き書き修了証書」授与
13:00 基調講演
『里山の暮らしから考える森づくり』
竹田純一氏 (里地ネットワーク事務局長)
13:40 休憩

《第二部》

- 13:50 「優秀作品賞」・「優秀写真賞」授与
14:00 「森の名手・名人」と高校生へのインタビュー
コーディネーター
阿川佐和子氏・塩野米松氏
15:20 卒業生による活動記録ビデオの上映
15:50 「共存の森」活動紹介
15:55 閉会挨拶
渋澤寿一 (NPO法人共存の森ネットワーク副理事長)
16:00 閉会

●講師・コーディネーター



阿川佐和子

(あがわ・さわこ/文筆家・インタビュアー)

1953年東京に生まれる。
慶応義塾大学文学部西洋史学科卒業。TBS「朝のホットライン」「情報デスクToday」「筑紫哲也NEWS23」などでリポーターや司会を務める。現在はテレビ朝日「たけしのTVタックル」にレギュラー出演。
檀ふみとの共著『ああ言えばこう食う』で、第15回講談社エッセイ賞受賞。『ウメ子』で、第15回坪田譲治文学賞を受賞するなど、文筆家としても活躍している。



塩野米松

(しおの・よねまつ/作家)

1947年秋田に生まれる。
東京理科大学理学部応用化学科卒業。芥川賞候補4回。職人の聞き書きを中心に執筆活動を行っている。法隆寺・薬師寺の棟梁であった西岡常一氏やその弟子の小川三夫氏、さらにその弟子の若者たちの聞き書き『木のいのち木のころ』シリーズなど。
主な著書は、『手業に学べ』天・地・人・風の巻、『木に学べ』(いずれも小学館)、『木のいのち木のころ』天・地・人 (草思社) など。



竹田純一

(たけだ・じゅんいち/里地ネットワーク事務局長)

1960年東京に生まれる。
中央大学法学部卒業。(財)水と緑の惑星保全機構事務局次長、トキの野生復帰連絡協議会事務局等も務める。里地で営まれてきた人々の暮らしを見つめ直し、自然との共生や地域に伝わる技術の継承を、全国各地で推進する。『森、里、川、海をつなぐ自然再生』(中央法規)、『エコシティーみなまの歩き方』(合同出版)、『実践コミュニティビジネス』他執筆・寄稿多数。



参加申し込み方法

参加費：無料 定員：400名

* 先着順で申し込みを受け付けます。＜申し込み締切り・3月27日(金)＞

* 定員に達しない場合は、当日も会場でも受け付けます。

申し込み方法

「フォーラム申込み」と明記の上、氏名、住所、電話、ファックス、Eメール、所属(高校名・団体、企業等)を記入の上、ファックスないしEメールで下記宛にお申込みください。電話でもお受けします。

申込み・問い合わせ先

森の“聞き書き甲子園”実行委員会事務局

〒162-0065 東京都新宿区住吉町1-20 角張ビル4階

TEL:03-5366-0766 FAX:03-5366-0688

E-mail:info@foxfire-japan.com